

受け継いでいきたい

函館公園

先人の思いと都市公園の原点がここにあります。

函館公園開園式場

日本の公園制度は、明治6(1873)年の公園開設による「太政官布達」をもって創設されましたが、この布達から間もない明治12(1879)年に開園した函館公園は、横浜公園などと同じく「日本で最初の時期に新設された都市公園」の一つとして数えられます。また、函館公園の造成は「多くの外国人が居住する開港都市・函館にこそ公園が必要」「病の人には病院が必要。健康な人には公園が必要」という函館駐在英国領事リチャード・ユースデンの呼びかけに端を発するものですが、これには多くの市民が賛同し、当時の豪商である渡辺熊四郎など有力者たちから資金や樹木などが寄進されたほか、市民の労力提供も相次ぎました。こうして完成した函館公園は、まさしく「日本初のパートナーシップ型」公園といえます。



函館公園全図(明治15年)函館市中央図書館蔵

また、平成18年1月に文化財保護法に基づく登録記念物「函館公園」として文化財に登録されました。このように、函館公園は、日本の都市公園史上からも特筆すべき価値を有する記念碑的な公園といえます。

園内は長い年月を経て今日も造成当時の原形が良く残存しているほか、春の花見時期には約400本の桜が見事に開花する桜の名所となっています。また、道の有形文化財である旧函館博物館一号・二号や道内初の動物飼育施設のほか、市内唯一の乗物を主体とした遊戯施設である「こどものくに」があり、こうした多様性あふれる空間が、函館公園の魅力となっています。

HAKODATE PARK

日本で初めて
市民参加により
造築された公園

登録記念物

函館公園



公園概要

公園の種類……………総合公園
函館公園開園……………明治12年11月3日
面積……………4.8ha
所在地……………函館市青柳町17
開園期間……………通年で入園可能(こどものくにには除く)

主な施設および利用時間

ビジターセンター……………**8:45~17:30**
(研修室の貸出時間は9:00~17:00)
休館日12月29日~1月3日
研修室貸出をご利用の際は事前の申請が必要となります。
動物施設……………4月~10月 **8:45~17:00**
11月~3月 **8:45~16:00**
休館日12月29日~1月3日
駐車場……………障害者専用のみ
(中央噴水広場3台 ビジターセンター1台)
トイレ……………園内5カ所
多目的トイレ……………2カ所(ビジターセンター1F・こどものくに横トイレ)
バリアフリートイレ… ビジターセンター3F
その他屋外トイレ… 2カ所(北海池下・明治山下)

交通手段

函館バス……………「函館公園」下車 徒歩1分
市電……………「青柳町」下車 徒歩3分

問い合わせ先

函館公園管理事務所……………**TEL 0138-22-7255**
(一財)函館市住宅都市施設公社
公園管理部西部公園事務所……………**TEL 0138-22-6789**
函館市土木部公園河川管理課……………**TEL 0138-21-3431**

こどものくに「空中観覧車」



現役で稼働する日本最古の観覧車であり、令和元年には国の登録有形文化財にも指定されました。昭和25年(1950)七飯町の大沼固定公園に設置されていたものを、昭和40年(1965)に函館公園内の「こどものくに」に移設しました。高さ10m、直径8mと可愛いサイズで、今では珍しい2人乗りの長いす型ゴンドラが8台ある観覧車です。大人も乗車可能で頂上からは津軽海峡が一望できます。

利用料 有料

こどものくに
☎0138-22-5039

※営業時間につきましては、電話にてお問い合わせ下さい。

旧函館博物館一号 (開拓使函館仮博物館)



明治12年(1879)5月25日に開場。現存する日本で最も古い博物館建築です。建物は洋風木造平屋建の瓦葺きで、面積は約108㎡です。正面入口には開拓使のしるしである「北辰」(北極星)が刻まれています。

※旧函館博物館一号内部は通常非公開となっております。北海道指定有形文化財 指定日昭和38年7月26日

市立函館博物館

昭和41年(1966)に開館。遺跡から出土した考古資料、蛸崎波瀾の掛け軸などの美術資料、剥製や昆虫標本などの自然資料、箱館戦争などの歴史資料、生活道具などの民俗資料が収蔵展示されています。



入館料 有料

☎0138-23-5480

開館時間9:00~16:30(冬期間は16:00まで)



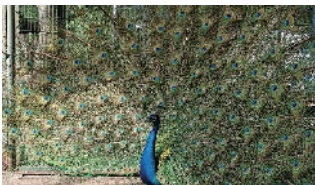
●中央噴水広場

昭和29年の北洋漁業再開記念北海道大博覧会で新設した噴水も、何度かの改造を経て平成18年に子どもたちが水に入って遊べる噴水に生まれ変わりました。



●浅田松翁の碑

函館公園開築専務であった、浅田清次郎の顕徳碑です。71歳でありましたが、「この公園が完成するまでは、安心して死ぬことはできない。家に財産を残しても、子孫が誤ればすぐになくなってしまう。公園に全力を注ぎみんなで楽しむ方が賢明である」といった信念をもって公園造りにあたりました。



●動物施設

昭和8年頃に、市民から送られた動物を飼育するようになったのが始まりと言われています。現在は動物を展示するだけではなく、ケガを負ってしまった野生動物たちを収容し、保護飼育する施設でもあります。



●白川橋

北海道最初の洋式石橋。函館公園開築専務浅田清次郎の寄付によるもので、当時で1,090円で完成したものです。明治14年9月6日明治天皇の侍従者北白川宮能久親王が馬車で渡られ、白川橋と命名されました。



●公園由来の碑

有力者は樹木や石燈籠、さらには私有地を寄付し、公園建設には老若男女問わず、市民参加によって完成した函館公園。そんな経緯や築園当時の風景が彫られています。函館公園の由来を知るには「公園由来の碑」に立ち寄ってください。



函館公園案内図

HAKODATE PARK GUIDE MAP



●函館公園の桜

函館公園は五稜郭公園と並び、函館の二大花見スポットで、園内には約400本のサクラが植えられています。花見の時期には電飾が施され、屋台も多く出店し、多くの市民や観光客でにぎわいます。



●噴水塔

明治22年(1889)に函館の上水道は横浜に次いで2番目に完成しましたが、日本人設計監督による上水道としては日本で最初です。その時横浜のイリス商会を通じイギリスから取り寄せた鉄管を使用したことから、イリス商会が水道完成のお祝いに送ってくれたのが大噴水塔です。現在の噴水塔は当時のレプリカです。

●明治山

この築山は公園造成の際に、函館支庁の官吏達が休日土運びの勤勞奉仕をしたのを始め、各町内からは多くの人が参加し、各寺院は檀家を動員するなど活発な住民参加によって造成されたと記録に残っています。函館山を背にし函館湾・津軽海峡を一望できます。

